

南町民センター指定管理者クリーン・ローズの評価 【評価委員総括表】

目的	一般住民の学習、保育、休養及び集会の用に供するために設置された本施設を、地域住民で構成され社会奉仕活動を行う団体たる指定管理者が、その能力を活用しつつ、地域住民等に対する住民サービスの効果及び効率を向上させ、もって地域コミュニティや福祉の一層の増進を図ること
----	---

評価対象期間: 令和2年4月1日～令和2年9月30日

評価項目	評価視点	評価区分
1 施設の維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な施設内外の清掃など利用者が気持ち良く利用できる環境を維持しているか ・定期的な巡回などで、危険箇所や異常を発見した際に、修繕や町への報告が速やかにされているか 	優
2 利用者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の利用にあたり不公平が生じていないか ・利用日・利用時間の遵守が徹底されているか 	良
3 施設運営の経費削減	<ul style="list-style-type: none"> ・不用な電気・水道・電話などの使用を慎み経費削減に努めているか ・効率的な人員配置を行っているか 	良
4 情報の管理・保護	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理によって知り得た秘密や情報を外部に漏らしたり、他の目的に使用していないか ・個人情報に関する書類等の保管・保護が適切になされているか 	良
5 災害時、緊急時に備えた危機管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・開館時に警報が発令された場合、町と連携をとり適切な体制や処置がとれているか ・防災訓練を実施するなど、有事に備えた体制がとれているか ・館内で急病者が出た場合、適切な体制や対応がとれているか 	良
6 地域の各種団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の各種団体との連携により利用の増加を図っているか 	良

【所管課の総合評価】

令和2年度上半期は、コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴う施設利用中止による収益の減少など、厳しい運営状況の中で、利用者の利便性を損なうことのないよう努力していると認められる。施設・設備等の老朽化が進むなか、利用者が快適に施設を利用できるよう施設内外の点検や清掃を実施する他、安全確保に努めている。
また、会員のすべてが女性ということもあり、利用者への対応も柔らかない。社会奉仕団体の特性を活かし、地域のコミュニティの場を設け、地域の絆を強めることに貢献している。このようなことから、施設管理の責務が十分に果たされている。

【委員会の意見】

令和2年12月1日開催 令和2年度第2回岐南町指定管理者評価委員会での総評

コロナ禍で令和2年度上半期において、休館のような状態ではあったが、指定管理者の創意工夫や努力により、協定書及び仕様書、事業計画書に定めるサービスを提供するため、管理業務に努めたことが認められる。利用が再開してからも丁寧な対応に努められ、地域住民の憩い場の提供ができるよう、花壇の整備をきちんとされているところは評価できる。